

茨城大学国際交流合宿研修 2019

Ibadai International Camp 2019



7月6・7日 @群馬県 国立赤城青少年交流の家

July 6&7 @National Akagi Youth Friendship Center

目次

| | |
|------------|-------|
| はじめに | 2 |
| 日程 | 3-4 |
| 各班のジャーナル | |
| 1 班 | 5-6 |
| 2 班 | 7-8 |
| 3 班 | 9-10 |
| 4 班 | 11-12 |
| 5 班 | 13-14 |
| 6 班 | 15-16 |
| 7 班 | 17-18 |
| 8 班 | 19-20 |
| 9 班 | 21-22 |
| 10 班 | 23-24 |

はじめに

今年で8回目となった国際交流合宿研修には、全学から70名の学生（アメリカ、インドネシア、韓国、タイ、中国、ベトナム、マレーシア、日本）が参加しました。この研修を運営しているのは、18名の日本人学生と留学生からなる運営スタッフであり、企画立案から実施までを協同で行いながら、実施しました。年度始まりの4月からミーティングをはじめ、活動内容や役割を決め、各々が責任をもって担当しました。キャンプファイヤーやマイムマイムなど代々引き継がれているものもありますが、それらの歴史を継承しつつも、さらにより良いものにしようとする運営スタッフの姿勢を感じました。特に今年は、初めて国際交流合宿に参加するスタッフも多かったのですが、「みんなで楽しい合宿にしよう」という思いが伝わってくるものになったと思います。この場を借りて、運営にあたってくれたスタッフの皆さんに対して心から感謝を示したいと思います。

茨城大学グローバル教育センター
青木 香代子

学生運営スタッフ

王 楚(人部学部)、小笠原 悠梨花(教育学部)、加藤 優季(教育学部)、葛原 美希(人文社会学部)、塙 理(人文社会学部)、松山 実玖(人文社会学部)、海老根 弘人(人文社会学部)、伊東 優真(人文社会学部)、高瀬 日菜(人文学部)、本麻 優花(教育学部)、茂木 杏奈(教育学部)、相島 優里香(教育学部)、安蒜 ひなた(教育学部)、関澤 南(人文社会学部)、高野 佳恋(人文社会学部)、木村 拓未(人文社会学部)、小林 雄太(人文社会学部)、比氣 梓(教育学部)

2

引率教職員

佐藤 達雄(グローバル教育センター長)、青木 香代子(グローバル教育センター)、安龍洙(グローバル教育センター)、小室 俊文(国際交流課)、茂木 慶斗(国際交流課)、中山 春菜子(国際交流課)

活動について

1日目は、現地到着後、昼食をはさんで、かんな箸作り、七宝焼き、ウォークラリー、キンボール、バレーボールの5つのグループに分かれて活動を行いました。1日目の夜は天候に恵まれ、キャンプファイヤーを行うことができました。また、ゲームをしたり、マイムマイムを踊ったりと参加者との間で交流を深めました。2日目は、班ごとに野外炊飯。バーベキューと焼きそばを作り、日本人学生にとっても留学生にとっても初めてづくしの経験でした。



★日程 Timetable★

2019年7月6日(土) Saturday, July 6, 2019

- 6:00 日立キャンパス 出発
7:00 水戸キャンパス 出発
8:00 阿見キャンパス 出発
11:15頃 国立赤城青少年交流の家 着
オリエンテーション
12:00-13:00 昼食
13:30-16:30 活動プログラム
・かな箸づくり
・七宝焼き
・ウォークラリー
・キンボール
・バレーボール
17:00 タベのつどい
18:10-18:50 夕食
19:00-20:30 キャンプファイヤー
21:40-22:20 入浴
23:00 消灯



2019年7月7日(日) Sunday, July 7, 2019

- 6:00 起床
- 7:00 朝の集い
- 8:00-8:40 朝食
- 8:40-9:00 清掃・退所点検
- 9:30-10:00 ジャーナル班打ち合わせ
- 10:00-12:30 野外炊飯
- 13:00 退所
- 16:00 阿見キャンパス 着
- 17:00 水戸キャンパス 着
- 18:00 日立キャンパス 着



国際交流合宿 ジャーナル 1 班

- ・農学研究科博士 1 年次 SURONO SAPUTRA(スロノドゥウィサプトゥラ)
インドネシア

The international exchange camp is a beautiful experience ever of my life. All of the participant is very friendly . And we have so much fun from all activity. This activity also is a good place to make a new friendship from other major in Ibaraki university as well as new friends from other country. Even though I don't know all of the participant, I'm still feeling very pleased to share story or experience about student's life and my culture from Indonesia with my room mates, my team or my group. Thank you very much to all teacher, staff and National Akagi Youth Friendship Center for living me this opportunities. I'm looking forward for any activities like this

- ・人文社会科学研究科博士 1 年次 Feng Baoyi(フウ ホウイ) 中国

まず、この二日間は楽しかったです。バスでもおもしろい自己紹介をして、ウォークラリーはすごくおもしろいと思いました。5 人で一緒に森の中で探検して、問題の答えを探すために協力して、そして最後 3 つの班はみんな迷いました。でも全員無事でそろいました。毎食のご飯も豊かで、栄養満点です！夜はみんなでゲームをしました。罰を受ける人たちはかわいいです。そのあとみんな手をつないで「マイムマイム」というダンスをしました。汗がいっぱい出てきて楽しかったです。国立赤城交流の家の環境もきれいで、いい体験をしました。

- ・理学部 2 年次 埜拓斗 日本

いろいろな国の人と話せてよかったです。また、アクティビティのウォークラリーではグループの人と協力することができました。野外炊飯も楽しかったです。

- ・人文社会科学部 2 年次 松永海渡 日本

今回の研修で多くの国のたくさんの留学生の方たちと協力して活動を行ったことで日常ではなかなかできないことを体験できました。例えば、同じ部屋にはインドネシアからの留学生がいて彼はイスラム教徒のため食事の際はハラールフードを食べていたり、彼からインドネシアの観光スポットや日本の印象を聞くことができたり、とても貴重な体験ができました。

- ・農学部 2 年次 平佐知子 日本

私が特に印象に残ったのはキャンプファイヤーです。みんなで手をつないでマイムマイムを踊り、留学生との仲が深まって良かった。いろいろな国や地域の文化を知れて興味深く行ってみたい国が増えた。また、来年もぜひ参加したい。

- ・教育学部 2 年次 相島優里香 日本

以前から水戸キャンパスに通っている交換留学生とは交流することがたくさんありましたが、他

のキャンパスや学部生の留学生と、そして日本人と交流の輪を広めることができたのでとてもよかったです。スタッフとして参加しましたが、合宿の様々なプログラムを通して参加者にとって思い出に残るものになってもらえていたら良いと思います。

・農学部3年次 宇治恵里佳 日本

今回の合宿を通じて、今まで話したことのなかった人と話すことの楽しさを改めて感じる事ができました。2年前にも参加させていただいたのが、その時には1年生で何もかもが新しい世界だったのでただただ驚くばかりでした。ですが3年生になった今参加してみると、自分とは異なる学部やキャンパス、国や文化についてより深く学ぶことができたと思います。いろいろな価値観に触れて視野が広がり、自分を見つめ直す機会にもなり、大変充実した時間でした。ありがとうございました。

・グループとしての感想(班長：相島優里香)

グループとしてみんなで活動を行ったのは、野外炊飯のみでしたが、それぞれが役割をもって率先して動くことができ、おいしく作り食べることができ良かったです。行きのバスの中で初めて顔を合わせたメンバーでしたが、バスの中や野外炊飯中に様々な話をしてお互いを知ることができたと思います。インドネシアのイスラム教徒の方がいたことで、ハラールについても考えることができたのではないかと思います。様々な国の人とかかわることで、それまでよりもっと広く世界を見つめ、今後の国際社会の中で生きる私たちの生き方に少しでも変化があればと思います。無事に終えることができよかったです。



2019 国際交流合宿レポート 2 班

重富結城

今までマレーシアの留学生たちしか話す機会があまりなかった（マレーシア人の留学生のチューターをやっている）ので、今回に合宿では様々な国籍の人と触れ合うことができ、とても良い経験になった。

留学生たちは皆とてもフレンドリーで、ニコニコと話しかけてくれたのが嬉しかった。合宿後も仲良くなった留学生とぜひ遊びたい！8月で帰国してしまう留学生もいるので、その前にぜひ会えたらいいなと思う。また、この合宿は（いつも思っているけれどさらに）英語を話せるようになりたいー！と思った2日間でもあった。同室の子が日本語を話せなかったからだ。夏休みにはケニアでホームステイ（英語）する予定があるので、このきっかけを無駄にせず、英語の勉強に励みたい…。

戸澤琴音

このような国際交流のイベントに参加するのは初めてで不安だったが、その不安も忘れ去るくらいのとても楽しい合宿だった。留学生とも関わって、それだけでなく日本人の他学生の人とも学年関係なしに交流することができた。特に、同じ部屋の留学生とは行動を共にし、お互いのことやそれぞれの国の文化、考え方の違いについて話、初めて知ることばかりでカルチャーショックを受けた。英語で話したり、他の言語を使ったりすることが出来なかったのも、もし次の機会があれば、英語をたくさん使いたい。

HE DINGYI

7月6日、バスの中でイヤホンを耳に入れ、窓際の景色を見ながら。目を覚ました時、予定地に着き、合宿の幕がこじ開けられた。荷物を4人の部屋へと運び、昼食を終え、体育館へ駆け、バレーボールを始めた。とても楽しかった。こういう風に汗をかいたのは久々だ。一瞬だけ、中学と高校の私の影が瞳に流れ込んだよう。また、しなやかに舞い降っていく記憶の欠片。朝から今までの出来事、あたかも目の前の焚火に再現したようにダンスとともにふと瞬くと、肉を焼いている仲間の姿が…

とても楽しかった。今は帰る途中です。

WU YILAI

合宿のかけてもらったことに1番大事と思っているのは、色々な周りの人と話せたことです。日本語と英語がそんなに上手くない私は、頑張って喋りました。違う国の人には、違う考え方を持っています。その中には必ず、勉強にあたるものがある、それらを身に付けるこそ素晴らしい国際的な交流だと考えています。

WIWI FITRIANI

インドネシアと日本のキャンピングは本当に違います。インドネシアのキャンピングはテントを使って、皆はテントに寝ます。これは新しいキャンピングだから、いい経験だと思います。

それで、はじめにしおりを見た時、たくさんグループがあって、でも同じ国は別にグループにいます。さびしいと思うんだけど、みんなが優しくて、嬉しかった。

たくさんハンサムな人もいます！（*^^*）

2日間ありがとうございます！いい思い出！

安藤ひなた

参加者のみんな、サポートしてくださった先生・交流課の方々に出会えて良かったと心から思える合宿だった。1人ひとりの個性がしっかりとあって、いつでも誰に対しても Welcome な心を持っている仲間たちを私は尊敬するし、誇りに思う。はじめましての人もたくさんいたけれど、あっという間に打ち解けることができた。マイムマイムをあんなに本気に一生懸命に全力にできたのは、みんなも本気で楽しんでいたらかもしれない◎

スタッフも全員が、楽しんでやろう、いい合宿にしようという気持ちが見られて、いい気持ちで参加することができた。この合宿で交流が増え、世界が広がり、さらに絆が深まったように感じる。

この機会を作ってくださり、サポートしていただき、本当にありがとうございました！

加藤優季

私は今回の合宿が3回目であった。3回目もスタッフとして参加したが、今回はリーダーが率先してみんなを引っ張り、下の学年のスタッフも自分から積極的に動いていたため、気を張らず素直に楽しんで参加することが出来た。全体的にまとまっていた合宿であったと思うし、特に2年生がよく動いてくれたため、3年の私はするところあまりなかったように思う。(スタッフとしていけないとは思いますが。)今回の合宿の感想としては、上記で述べたように、1、2年生の活躍が目立ち、来年の合宿につながるようなものであったと考える。

また、今年はキャンプファイアーを初めてすることができた。合宿前はキャンドルファイアーの方が体育館だし片付けも楽だと考えていたため、あまり乗り気ではなかったが、実際にやってみるとやはり楽しかった。みんなで火を囲みながら踊り、疲れはしたがとても思い出深い出来事になったと思う。

私は来年留学をしているため、今回の合宿が最後であった。悔いなく楽しめたことは、3年スタッフをやった自分にとってとてもいい思い出を作れたように思う。

スタッフの皆さん、お疲れ様でした！

そして、いい思い出をありがとうございました。



国際交流合宿 ジャーナル 3 班

・工学部 1 年 川瀬雄也

様々な国の出身の人がいる中で、大きな問題もなく親しくなれたことから、誰もが気遣いを心がければ国や人種などは関係ないと思えた。

自分はアメリカへの留学を考えているが、今回の経験を通して接しているのはあくまでも人であることを実感し、異国に一人で行くことの恐怖心がかなり和らいだと思う。

・交換留学生 ムハンマドバグspanハル

たくさんの人と交流できて楽しかった。友達がたくさんできた。キャンプファイヤーが楽しかった。

・教育学部 2 年 千葉麻帆

私は今回が初めての国際交流合宿でしたが、とても楽しかったです。

初めは緊張しましたが、アクティビティやキャンプファイヤーを通じて交流できたのが楽しかったです。また、ご飯が美味しかったです。

・交換留学生 ヴィチェン・ピンヤーポン

国際交流合宿にははじめて参加しました。日本人の大学生と一緒にいろいろなことをやって、楽しかったです。キャンプファイヤーのとき 1 番大好きです。ありがとうございます。

・工学部 1 年 斎藤陽

はじめて国際交流合宿に参加したので、最初は何もわからず不安でしたが、外交的な人が多く仲良くしてもらえてとても楽しむことができた。

私は感情が表に出にくいですが、今回の交流を通じてもっと人と仲良くできるように、非言語を身につけたいと思った。

・人文社会科学部 3 年 杉本佳織

はじめての参加で緊張したが、たくさんの人と交流できてとても良い経験になりました。様々な国の人と異文化交流ができ、文化の違いを実感しました。1つ目がムスリムのハラルです。食事に気をつけていて私たちにはない文化で、日本で食事するのは大変だろうなと思いました。グローバル化が進む中もう少し街にハラルマークがあればムスリムの人たちも日本で暮らしやすくなるのかなと思いました。2つ目が中国人に年齢を聞くことです。日本では、ふつうのことなので「それは中国では失礼なことなんだよ」と言われて驚きました。国によって失礼なことが違うので、今後接する際は注意していきたいと思いました。

活動では 1 番バレーボールが楽しかったです。スポーツには言葉の壁がないと強く実感しました。また、機会があれば異文化交流したいです。

・人文社会科学部 3年 葛原美希

キャンプファイヤーができて嬉しかった、キャンドルより火が大きくて盛り上がった。
留学生だけでなく日本人の友達ができ良かった。

・教育学部 2年 本麻優花

日本人も留学生も様々な人がいてたくさん友達ができ嬉しかった。
また、企画する側として改善できそうなところが見つかったので来年から生かしていきたいと思った。
来年も参加したい。



国際交流合宿ジャーナル 4 班

・教育学部 2 年次 比氣 梓 日本

今回の合宿を通して、参加者をどう盛り上げ、どうまとめたら楽しくできるのかについて深く考えさせられた。私はスタッフとしてキンボールとキャンプファイアーの司会・進行を務めた。キンボールは私も参加者も初めてやる競技で、ルールの取捨選択に時間をかけ、悩める部分が多かった。しかしやってみると案外出来てしまうもので、2 試合目にはみんな作戦を立てながら取り組んでいた。また一つスポーツの魅力を知った瞬間だった。キャンプファイアーでは文字数ゲームと自己紹介ゲームとマイムマイムを踊った。ゲームは予想以上の盛り上がりを見せ、時間的にも予定していた時間に近かったため、とても嬉しかった。マイムマイムでのダンスは全員で歌って踊り、それぞれのパフォーマンスを披露する時間ではレベルの高さに驚くとともに、みんなの特技を見て興奮した。天候に恵まれて実施できたキャンプファイアー、参加者の心が一つになり全力で楽しめたと思う。

みんなと過ごした 1 泊 2 日の合宿は私に沢山の経験をもたらしてくれた。そして、周りでいつも支えて下さった先生方、職員の方には深く感謝したいと思う。

・交換留学生 フィルダニ レシャ インドネシア

日本での初めての合宿なので楽しくてよかった。いろいろな国の人たちが来ていて、友達をたくさん作れたことがうれしかった。

いろいろな活動をしたけど、ウォークラリーやキャンプファイヤーなどがとても楽しくてよかった。

私はムスリムなので、合宿に参加することがちょっと心配でしたが、先生やスタッフの皆さんのおかげで助かりました。

・人文社会科学部 3 年次 青木 玲奈 日本

初めての参加なので友達も少なかったけど、たくさんの留学生、チューターの方々と話しました。みんな活動的な方々でよい刺激を受けられ、1,2 年生のころから参加できていれば意識をもって、留学などに挑戦できていたのかなと思いました。まずは、英語を話せるよう、座学だけでなく、ネイティブの方々と話す機会を持ち、言葉の障害をなくしたいと思いました。普段話すことができないような話を留学生ともでき、充実した楽しい合宿になりました。

・教育学部 3 年次 松本 彩香 日本

私は今回国際交流合宿に初めて参加しました。今年の 3 月にマレーシアに 3 週間語学留学をしたことが参加しようとするきっかけでした。合宿を通して、改めて様々な国や地域から来た人達と交流することの楽しさや面白さを感じることが出来ました。ウォークラリーでは、班の仲間と協力して、書く場所にあるクイズを解きながらゴールを目指し、団結力や達成感が高まりました。キャンプファイヤーでは、みんなで輪になってマイムマイムを全力で踊り、疲れは感じましたが、さらに多くの人たちと仲良くなることができたと思います。今後もこのような活動に積極的に参加したいです。

工学部 1 年次 田村 光里 日本

最初は国際交流と聞くと少し固いイメージがあり、多言語を話す方々とコミュニケーションが取れるか不安でした。しかし、アクティビティや部屋での活動を通して学部も年齢も言語も違う方々とたくさん交流することができ、たくさんのことを学ぶことが出来ました。

1泊2日と短い時間でしたが、とても充実した時間を過ごすことが出来てよかったです。

・人文社会科学部特別聴講学生 ファン ホアン ミー リン ベトナム

今回国際交流合宿に参加したのは初めてですが、非常に楽しかったです。

みんなと一緒に交流して、多くのことが勉強になりました。そして、新しい友達が出来て本当によかったです。素晴らしい時間をすごせました。今回の1泊2日の合宿ありがとうございました。

・人文社会科学部 2 年次 桑久保 由貴 日本

今回初めて国際交流合宿に参加した。アクティビティなどで様々な共同生活をしたことによって心に残るような体験をする事が出来た。また国際というように多様性のある国籍の友人とコミュニケーションをとることが出来た。

教育学部 2 年次 茂木 杏奈 日本

私は異文化の人と交流してみて宗教による生活の違いや、時間に対する意識の違いを実感しました。また、共同生活をする事で、留学生の母国の文化について教えてもらったり、コミュニケーションをとることができて楽しかったです。班でのバーベキューではダニさんがハラルなこともあり班の皆さんが協力して作業してくれて、ダニさんの笑顔が見れてとてもうれしかったです。とてもやさしい班の皆さんには班長としてつたないところはあったので、とても感謝しています。楽しい合宿になって本当によかったです。



国際交流合宿 2019 ジャーナル 5 班

Choi Hyowon (チェヒョウオン) 人文社会科学部特別聴講学生 韓国

キャンプファイヤーの踊りやつどいがめっちゃ面白かったです。つどいは最初はつまらなそうだったけれど、他から来た小学生が可愛かったです。それから、日本独特なキャンプファイヤーができて楽しかったです。

Mai Jiancong (マイ ケンソウ) 3年 中国

今回の合宿はとても楽しかったです。

かな箸づくりを体験させていただきました。もともとはマイバシを作ろうと思っていたのですが、最後は記念箸になりました。自分で箸を削ることはとても新鮮でした。

夜のキャンプファイヤーもすごく楽しかったです。

みんなと手を繋いで、踊って絆を深めることができました。

来年もチャンスがあればもう一度行きたいです！



野洲 由美子 農学部 3年 日本

今回で3度目の国際交流合宿の参加でした。かな箸づくり、キャンプファイヤー、BBQ と楽しいイベントが多く、班のメンバーとも仲良く交流することができました。昨年、一昨年の合宿では天候に恵まれず、キャンプファイヤーができませんでした。キャンプファイヤー中のゲーム、ダンスを通してさまざまな国籍の留学生と交流することができました。英語で会話したり、中国語を教えてもらったり、互いの文化を教えあったり、たくさんの異文化に触れ、学ぶことができました。今年で最後の参加になると思いますが、また機会があったら参加したいです。

Rizki Amalia Dianing Ratri (リスキ アマリア ディアニング ラトゥリ)

農学研究科 M2 インドネシア

This is my first time joining International Camp, and it was a nice experience for me. All the staff members were so kind and thoughtful. As a Muslim student in another country, all the support and facilities were very good. I am so happy for every little consideration toward us.

I got many new friends through this program, I can meet another friend from another country, learning Nihon-go which is very useful for my daily activities, and learning new culture for me. I am glad to join today (and yesterday) activities.

Qin Guanqiao (チン カンキョウ) 人文社会科学部研究科 M1 中国

短い合宿ですが、ウォークラリーやマイムマイムなどを通じてチームワークおよび人との付き合いについて学びました。日本の給食とラジオ体操も体験できました。たくさんの友達できて、

とても充実した二日間でした。またチャンスがあれば次回も参加したいと思います。

佐藤 竜太 19T7017A 工学部 1年 日本
今回「海外の人と交流をする」「人と話すことが苦手なので克服する」という目的でこの合宿に参加しました。留学生と、実際に話してみても分かったことは、少し話すだけですぐいろいろな話ができるということです。お互いの生まれも育ちも文化も違うのでお互いの話が相手にとっては何も知らないことで普段日本人となら当たり前のようなことも、話してみると驚かれることも多くて、話が弾みました。自分が将来留学生の立場となってほかの国に行くとしたら、きっと自分をもっと話したいと思うし、いろいろな人と関わりを持ちたいと思うことがあると思います。日本に来る留学生もきっとそうなのだと思います。この先もこういった機会があったら是非参加したいです。



木村 拓未 人文社会科学部 1年 日本

国際交流に関心があり、スタッフとして企画・運営に携わりたいと考え参加した。学んだことの中で印象に残ったことをあげ、考察する。

留学生の方々とたくさん会話することで、自分の知らなかった留学生の出身国の文化や事情はもちろんであるが、知っていたことに対しても、違った視点から見たものがあり、大変勉強になった。例えば、中国で月餅を食べるのが9月9日（旧暦の）だけであったことや、この日の王維の有名な詩があることなど知らなかったことを学んだ。

知らなかったことと、異文化への理解、日本との比較についてよく考えられた2日間だったと考える。故に、今後もこのような活動を続けてほしいと願う。

松山 実玖 人文社会科学部 2年 日本

2度目の国際交流合宿スタッフ参加となりました。昨年の経験を活かし、自分自身も楽しみつつ班のメンバーをリードすることができました。この国際交流合宿はキャンパスや学部・コースを超えて交流できるととてもいい場だと思います。今年もこの合宿に参加することができてよかったです。



・工学部1年次 XU WEINING (ジョイネイ) 中国

このような合宿に参加するのも初めてで、非常に新鮮感がある活動だと思います。あまり日本語が出来なくても、周りの優しい先輩からの手伝いがあるって、問題も簡単に対処できました。キャンプファイヤーをつけて、みんな丸をつくって叫んだり、ダンスしたり、疲れましたけど本当に楽しかったです。初めて会った人達と挨拶してゲームすることも非常に面白かったと思います。もし今後機会があったら、ぜひ参加しようと思います。

・人文社会科学部特別聴講学生4年次

THOSANGMITI SASIPA (トーセンミティ サシパー) タイ

新しい友達と知り合いました。いろいろな活動をしました。楽しかったです。友達と一緒にキャンプファイヤーに参加して、バレーボールもしました。友達と一緒にご飯を食べました。友達と一緒にシャワーを浴び、友達と一緒に寝ました。いろいろな活動は楽しかったです。みなさんに会えて幸せです。

要望・提案→みなさんはこの活動に参加してください。楽しかったです。

・人文社会科学部1年次 太田 成美 (オオタ ナルミ) 日本

今まで留学生と長い時間一緒に話したり、他の学部の人たちと一緒に活動したりする機会がなかなかなかったので、とても新鮮で充実した時間になりました。アクティビティで仲良くなった人たちに母国のあいさつや発音を教えてもらったのも、貴重な体験でした。楽しそう！という興味だけで参加しましたが、想像以上に多くの人たちと仲良くなれて、盛り上がって良い思い出になりました。また参加したいです。

・農学部3年次 伊藤 里菜 (イトウ リナ) 日本

英語が話せないのが楽しく交流できるか不安でしたが、全くそんなことなく、会話をしなくてもアクティビティなどで一緒に盛り上がったので、楽しく交流することができました。留学生のほとんどが上手に日本語を使っていたので、感動しました。それと同じに自分の力不足を大いに感じ将来的に英語を使って話せるようになりたいなと思いました。アクティビティでやったキンボール、思った以上に面白かったです。今後サークル活動に取り入れてみたいと思います。

・農学研究科修士1年 岡田 宜義（オカダ キヨシ）日本

国籍の地学学生と交流する機会を持って、とても楽しかったです。農学部では、インドネシア人やタイ人の留学生が多く、韓国人や中国人、アメリカ人などの留学生がほとんどいません。また、日本語が堪能な留学生もほとんどいないため、今回の合宿はとても面白い経験ができました。一人一人の日本語のスキルがとても高く、自分が英語を用いて伝えられない細かい表現やニュアンスのやり取りを日本語で行うことができました。今回の合宿をきっかけに、そのようなやり取りができるように語学勉強をしていきたいと思います。

・人文社会科学部1年次 高野 佳恋（タカノ カレン）日本

学部、学年、キャンパスが違う人たちと生活やアクティビティを共にしたことで、今まで知らなかったことや興味深いことをたくさん見たり、聞いたり、経験したりすることができました。特に、キャンプファイヤーでは、遊びを通して違う言語や文化をもった人と楽しく交流できました。また、たくさんはしゃいで、笑い合うことができたので、言語や文化の差は少なからずあるものの、お互いに交流しようという気持ちや楽しい、嬉しい、恥ずかしい、悲しいといった感情表現は世界共通なのだと感じました。さらにBBQでは、お肉の種類だけでなく焼き肉のたれの中に入っているアルコールもNGだということを実感し、ハラルにおける食生活の難しさやいろいろなところに目を向けなくてはならない大変さを改めて感じました。とても充実した2日間でした。

・人文社会科学部3年次 埴 理（ハナワ オサム）日本

2日間、本当に楽しむことができました。ご飯もおいしく、キャンプファイヤーも盛り上がり、一生の思い出になりました。班が同じになった人、その他話した人たちとも仲良くなれてよかったです。来年は4年生なので参加できるかわかりませんが、機会があれば参加したいです。



国際交流合宿ジャーナル7班

・人文社会科学部3年次 大賀哲也 日本

交換留学生にとっても、日本の学生にとっても交流を深めるいい機会になりました。スポーツやキャンプファイヤーなど、違う言語をお互い使っていたとしても、共通のルールや決まりを通じて楽しむことができたと思います。昨年の合宿に参加して興味を持ち始めた国際交流ですが、今後も自分の成長のために関わり続けていきたいです。

・教育学部1年次 青木祥歩 日本

今まで海外の方と関わる機会はあまりありませんでしたが、今回の合宿に参加して沢山の留学生と話したり、アクティビティをしたりしてとても楽しかったです。

スタッフの方が積極的に英語を使ってコミュニケーションをとっていてすごいなと思いました。夜のキャンプファイヤーが一番楽しかったです！

日本語を頑張って話そうとする留学生をみて、私も色々なことにチャレンジし、今やりたいことをやってみようと思いました。また、日本を出て、外国からの視点で考えることが視野を広げることに繋がると思ったので、様々な文化に触れていきたいと思いました。

・工学部1年次 島津一華 日本

私はウォークラリーに参加しました。迷子になったり、チェックポイントを見落として戻ったりしたので、3番目に出発したはずなのに帰ってきたのは最後で1時間半もかかってしまいました。でもその1時間半は班の留学生さんと沢山、色々なお話が出来てとても良い時間でした。普段、私は留学生の皆さんと深く関わる機会がほとんど無いので、他の文化や習慣、宗教などについて聞くことができてとても新鮮で、興味深かったです。思っていたより英語を話すという感じではありませんでしたが、留学生さんと沢山交流できて良い国際交流合宿だったと思います。

・農学部3年次 久保木優文 日本

他学部の留学生との交流は、初めてでした。みなさん、初めましてだったけれど、温かく迎えていただき、楽しく2日間を過ごせました。1日目のアクティビティでは、キンボールを体験しました。日本でもあまりメジャーではないので、日本人も留学生も共に、0からのスタートとなり、お互いに、ルールを教えながら、勝つためにはどうすればよいのか、考えながら活動でき、仲を深めることができました。

1日目の夕食には、自分の出せる精一杯の英語で「フルーチェ」について、留学生に話しました。十分伝わったかどうかわかりませんが、優しく聞いてくれた相手に、感謝しています。

・人文社会科学部2年次 関澤南 日本

国際交流合宿にスタッフとして参加しましたが無事終わることができてよかったです。

担当したバレーボールのアクティビティでは日本人学生、留学生問わず一つのボールを必死に繋ぐ姿が印象的でした。2日間を通して留学生と交流を深め、スタッフとして国際交流合宿に携わ

ることができ、良い経験を得ることができました。

・人文学部 3年次 LOZANO IGNACIO EMANUE (ロザーノ イグナシオ エマニュエル)
アメリカ

このキャンプの一番楽しかったことはキャンプファイヤーだと思います。マイムマイムのダンスは知らなかったです。たくさんいい思い出を作りました。本当に忘れられません。

・人文学部 4年次 BENARDIA SUCISAKTI (ベナルディアスチサクティ) インドネシア
I am very happy and grateful for jointed this event. I met many people here. I choose walk rally for my activity, it is my first time for join walk rally, it is so scared because I did not know what to do but I have good group members, they help me well. I am very impressed. I want to do this event once again !

・グループとしての感想(班長：関澤南)

学年や学部、国籍もバラバラで最初は上手くまとめることができるか心配でしたが、活動を通してグループの絆を深めることができました。野外炊飯のバーベキューでは炊飯と火おこしに分かれて計画的に進めることができました。食事中は留学生の自国の食文化や伝統文化について日本の文化と比較しながら会話を弾ませました。最後までグループメンバーがそれぞれの役割を全うし無事終えることができました。

共に活動することで新たな発見や、相手を知るきっかけをつかむことができると感じた2日間でした。今後はこの経験を活かし国際交流活動を積極的に行いたいと思います。



国際交流ジャーナル8班

- 人文学部 4 年次 高瀬日菜 日本

今回、4 年生ながらスタッフとして初めて参加しました。ウォークラリーの担当でしたが、思っていたよりも大変で、私服で来ている人もいたので、服装についてもう少し細かく案内が出来ていれば良かったと思いました。ですが、それぞれの班が無事に楽しく終えることができたのでよかったです。夜に行ったアクティビティでは、ゲームがとても盛り上がり、これから会館の行事でも取り入れていきたいと思いました。また、キャンプファイヤーでのマイムマイムではみんなが 1 つになった気がして、とても良い思い出となりました。バーベキューもしっかりお肉を食べて、班のみんなでも 1 つ思い出を作れました。予想されていた雨もひどくならず、楽しいキャンプとなりよかったです。

- 工学部 3 年 唐天乙 中国

かなばし作りのアクティビティで始めて木の棒から箸を作ることを体験した。マイ箸を大事に使おうと思う。その後はキャンプファイヤーの周りでダンスなどをして、とても大事な思い出ができました。BBQ もとても楽しかった。やっぱ自分で火をつけてから作ったお肉はうまい。いつもの忙しい勉強を離れて、気分転換に自然と親しむのもいいことだ。

- 人文社会科学部 1 年 山口二千翔 日本

様々な国の人々と寝食を共にしたり同じ目標を目指して協力する中で、様々な価値観に触れる事が出来た。また、相手の文化や風習を知り、同時に自分の文化を相手に知ってもらうという喜びも味わうことが出来た。

- 人文社会科学部 1 年 須摩玉来 日本

今回の合宿で様々な国籍の友達を作ることができた。また、自分とは違う文化、考え方に触れることができた。普段生活している中で、自分とは違う文化、考え方に触れる機会はなかなかないため、様々なことが新鮮だった。他文化を知る中で自文化がどのようなものかを気付かされた。これは他文化に触れないとなかなか気づくことがないため、貴重な機会だと思う。キャンプファイヤーでは、みんなで輪になって歌を歌い、踊り、笑い、本当に楽しかった。またバーベキューでは、協力し合い、準備から片付けまで、トラブルなく終わることができてよかった。これからもこのようなイベントに積極的に参加していきたい。

- グループとしての感想(班長:人文社会科学部 1年 19L1057T 小林雄太 日本)

留学生と日本人も仲良くできていたのが良かった。野外炊飯ではみな積極的に準備、片付けができた。唐天乙さんは焼きそばをつくるのが初めての経験のようで、焼きそばづくりを楽しんでいた。また、野外炊飯中の唐天乙さんの故郷遼寧省瀋陽の話が興味深かった。瀋陽は私たちが想像しているよりも発展していて、住みやすい街だそう。また、高瀬さんのア

メカ留学の体験談が聞けたので中国だけでなくアメリカのことも知ることができていい経験になった。



国際交流合宿9班ジャーナル

海老根 弘人
小笠原 悠梨花
Sanaeha Jindaorn
安孫子 美里
Luo Ruiying
手代木 麻希

・海老根 弘人

この合宿に参加してよかったと思う点は、留学生だけでなく日本人とも交流を深めることができたことです。これらの交流からそれぞれの異なった視点や考え方を知ることができました。来年も参加したいです。

・小笠原 悠梨花

昨年に引き続きスタッフとして参加しました。今年も携わらせていただいた仕事が昨年よりも多くあり、より責任をもって主体的に活動できました。人数が少なめだったのもやりやすかったなと思いました。アクティビティを通して、初対面の日本人・留学生と自然になじめました。昨年のアクティビティは七宝焼きで、個々の作業でしたが今年はキンボールだったのでわいわい、会話・協力をしながら進める形でとても楽しかったです。

・Sanaeha Jindaorn

合宿を通して様々な勉強になりました。まず、キンボールをやってみました。最初、このスポーツを知らなかったけど、結局みんなと一緒に遊んですごく楽しかった。次に、日本で初めてキャンプファイヤーに参加しました。最初日本のキャンプファイヤーが想像できなかったが、マイムマイムをやってみた時、とても疲れたが面白くて楽しかったです。あと、バーベキューを食べておいしかったです。また、みんなと合宿にきてよかったです。また遊びに行きたいです。

・安孫子 美里

今回の合宿では、様々な学年、学部、国籍の人と交流することのできる良い機会でした。普段はなかなか話す機会がない人ともいろいろな話をして、仲良くなることができたのでよかったです。また、アクティビティでは初めてキンボールをやり、ルールを知ることができました。ボールが大きいのでとても楽しかったです。一泊二日の短い間でしたが、とても良い経験をすることができました。

・Luo Ruiying

初日はみんなと仲良くできるかと心配したものの、実際にアクティビティをするときは、日本人だけではなくほかの国の友達ができ、七宝焼きは中国にも同じものがあるけど、和風の七宝焼きを皆さんと一緒に楽しませてもらった。

・手代木 麻希

いろいろな国籍の方やほかのキャンパスの方々とアクティビティや食事時の会話を通してこい交流ができ、とても良い刺激を受けました。来年もぜひ参加したいと思うのと、それまでに自分の英語スキルを上げようというモチベーションにもつながりました。留学生の方がたくさん質問してくれるのもうれしかったし、いろいろな言語のコトバを教えてもらい、その国についてもっと知りたいとも思いました。

・班全体として

とても話しやすい良い空気をもってアクティビティを進めることができました。バーベキューの際には、それぞれが自分の仕事を探し協力しあうことができました。今回の合宿を通して、有意義な交流ができたと思います。



国際交流合宿 ジャーナル 10班

教育学部 2年 田中杏実 日本

知り合いがいない中一人で参加しましたが逆に新しい人との出会いの場になりました。日本語が得意ではない留学生の人とも英語で話したりと努力することができたりアクティビティを通じて心と体でコミュニケーションをとることができてよかった。ほかの活動では班グループ以外の人たちとも交流ができ積極的に活動する機会になりました。今回、SNSなどで連絡先を留学生や新しい友人と交換することができたので今後も何かしらの交流を続けて、出会いを大切にしたいと思いました。

交換留学生 ManeeninPatcharee (マニーニン・パッチャリー) タイ

とても疲れましたが、とても楽しかったです。本当はほかの人たちと仲良くできるか不安でも緊張していたが皆がやさしくしてくれていい人たちだと感じた。バレーボールとキャンプファイヤーは特に楽しかった。マイムマイムの歌詞を作りました(笑) BBQ も楽しかったです。みんなと一緒に来れてよかった。

教育学部 4年 福島清香 日本

普段は関わりをあまり持つ機会のない学生・留学生たちと関われるとても素敵な機会となった。同じ目標をもってともに活動すると、多少言葉の壁があってもすぐに打ち解けあっていつのまにか仲良くなれることが分かりました。何気ない会話の中でお互いの国の食文化や音楽文化についても話し合えるなど学びとなった点もたくさんありました。留学生と日本人学生全員が笑顔になった素晴らしい合宿になったと思います。

人文社会科学部 2年 松山泰羽 日本

今回の合宿を通して何事も全力で楽しむ大切さを学んだ。ウォークラリーでは過酷ではあったがみんなで仲良く迷いながらの道は疲れながらもとても楽しかった。夜のキャンプファイヤーではいろんなことをしてたくさんの人と交流できた。そのなかでも日本語が得意ではない留学生とも楽しくコミュニケーションがとれたので言葉が分からなくても通じ合えることが分かった。みんなの温かい心・ノリの良さでとても楽しい合宿となった。

農学部 3年 磯前朱里 日本

アクティビティやキャンプファイヤー、野外炊飯などを通じてたくさんの人とコミュニケーションをとることができました。特に留学生とは普段あまり関わったことがなかったのでお話しすることができてよかったです。合宿に参加する前は留学生とうまくコミュニケーションがとることができるか不安だったが、日本語がとても上手で楽しく会話ができた。楽しい合宿になりました。

人文学部 4年 王楚 (オウソ) 中国

今年で4年目の合宿ですけどそろそろ何も感じないと思っていたのですが、やはり一緒に遊んだ参加者が違うだけで、こんなに楽しくなれるんだなって改めて思いました。そして最後の合宿で念願のキャンプファイヤーをすることができ満足しました。これからは参加することができないが毎回成功できるように応援します。

人文社会科学部 2年 伊東優真 日本

まず、スタッフの一人として今回の合宿を成功させることができてよかった。始まる前までは日本人・留学生の方々両方と仲良くできるか不安であったが、そんな心配が馬鹿らしいと思えるくらいにみんなと仲良くなることができてよかった。また普段では話す機会のないような方々といろんなことについて話すことができ、刺激になった。今回の合宿で知り合った留学生・学生とこれからも関わっていきたいと思いました。

グループとしての感想 班長 伊東優真

みんなで協力して無事にトラブルもなく終わることができてよかった。今年で4年目の参加となったオウソさんが率先して円滑に活動などを進めてくれてスムーズにいきました。終わってこのジャーナルをまとめているときにみんなの感想がとても楽しかった等が書かれてあってとてもうれしく感じました。バス移動のときも行ってみたい国などについてなどずっと話し合っ交流することができました。みんなの協力のおかげでとても良い体験になった国際交流合宿にすることができたと思います。



